

2012. 6. 20



チーム長岡 DCT

DCTは Dreams comes true の頭文字から 文責 大泉

NDソフトスタジアムに響いたエール 思い出は空へ

学校というある意味特殊な環境（少ない大人と数多い子ども）で、5、6年児童は、諸活動の渦の中心にあって、また、全校生の最前線でリードしている頼りがいのある存在とも言えます。と言ってもまだまだ子ども——。一気に大人の入り口に立つものではありません。毎日の授業は勿論ですが、行事という子どもたちにとって意味のある活動を通して、自分で考えなかと共に歩む中で自信を深めた姿へと変わっていきます。

5日(火)午後、市内全6学年が参集し、NDソフトスタジアムを会場として、天童市陸上記録会が開催されました。6年生は、陸上記録会に向け4月から取り組んでこの日を迎えました。5年生が先頭に立って実施した壮行式でのエールを胸に参加。各自ベスト記録を更新した6年生も多く、また、女子リレーは1/100秒差で優勝！競技の合間の応援も、一体感は随一に感じました。



自分づくりと自分発見

こんな自分になりたい 5年宿泊学習



5年生は、6月12(水)～14(木)の期間、朝日少年自然の家(大江町)にて、2泊3日の宿泊学習を終えました。男女の協力する姿もたくさん見られましたし、みんなが楽しめたキャンプファイヤーなど素敵な思い出をつくることができました。一方、うまくいかなかったことや、頭では分かっているけど実行に結びつかないことなど、これから高学年として、みんなで次に生かすことをしっかりと確認したようです。

光る汗 思い切り楽しんだ たてわり班活動

19日(火)、今年初めてのたてわり班活動(児童会主催)が開かれました。台風が近づいていて外遊びはできませんでしたが、交流を深める班ごとの遊びと、「キーワードゲーム」を通してたのしい時間を共有することができました。右のフォトは班ごとゲームが終了してゴールし盛り上がっているところです。文科省の児童会活動の内容でも、「異学年による交流」を大切に示されていて、自分やなかまのよさに気づき、仲間意識も高まっていくなかで、自分たちでよりよい生活を創っていくことのよさを実感していき学習や児童会活動の充実にも結びついていくものと言われています。子どもたちは、なすことによって学ぶ活動を通して育っていきます！

